



# とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



## 事業者名

株式会社兔ッ兎

## 所在地

鳥取市国府町麻生 178 番地 11

## 代表者

代表取締役 前岡 美華子

## 業種

農林水産業

## 事業概要

ぶどう栽培 70 年以上の歴史をもつ鳥取市国府町にて、ぶどう栽培、ワイン醸造、販売の 6 次産業に取り組んでいる。鳥取市唯一のワイナリーとして鳥取のぶどうでワイン醸造を行い国内流通ワインの 7% の「日本ワイン」に属する。仕込量は 2021 年実績で約 6,000 本。圃場成園化に伴い今後は 30,000 本を目指している。また当ワイナリーを拠点とした人材交流・ぶどう産地の発展を目指し活動している。

### <2030 年に目指す姿>

当社は創業以来、地域の自然と人の生活を守り続けるために「ぶどうとワイン造りを通して人が繋がり夢と未来を創造する」を理念として、地域に根差した、農業から商工業、そして教育福祉を含めた広範囲な産業を一貫して行える多面的な事業を展開し、栽培・加工・販売・人材育成プロセスを持った 6 次産業の創出を目指しています。

気候変動への対策の必要性をいち早く肌で感じ取っている私たち農家は、創業以来サステナブルなワイン造りの取り組みを実践してきました（別添資料：「鳥取市唯一のワイナリー『兔ッ兎ワイナリー』が実践するサステナブルなワイン造りの取り組みのご報告」参照）。今後は、さらに「ゼロウェイスト」を目指し活動を進めるとともに、自社工場での温室効果ガスの削減に取り組み、2030 年のカーボンニュートラルを目指します。

また社員が仕事にやりがいを持ち、彼らの年齢・性別や、社会的背景に関係なく個々人の事情に応じた働き方ができるよう、「鳥取県男女共同参画推進事業認定制度」を活用し取り組みを進めます。

グループ企業である「医療法人とつとの杜」「一般社団法人ほどきのとつと」と共に次世代を担う人たちが誇りをもって活躍できる地域づくりに注力するとともに、企業活動により、地域の自然を守り、自然を通じて人々の健康で豊かな生活に貢献します。

## <目指す姿の実現に向けた重点的な取組>

社会10：地域社会への貢献

経済10：人材育成・能力開発

環境1：【気候変動①】 自然環境の変化が経営にもたらす影響

環境10：環境面での社会貢献

### <重点的な取組推進時のインパクト（正の影響、負の影響）の分析・考察>

#### ◆過疎化が進む農村集落での地域づくり

当社が所在する鳥取市国府町麻生地域は、過疎化や耕作放棄地の増加など様々な問題を抱えている。このような地域で当社が中心になってワイン造り、イベント企画などを行うことで、社会10や環境10のような地域環境の保全や人同士の盛んな交流につながる。ただし、活動が多岐に渡ることで人的配置や稼働時間の確保など、従来よりも困難が増す可能性もあり、全体的に手薄になることがないように、土台の事業であるぶどう栽培・ワイン造りにおいてボランティアスタッフや高齢者雇用、インターンの受け入れなどを通して事業の継続をしている。

#### ◆すべてはおいしいワインのために

当社にとって、サステナブルなワイン造りに必要なことが3つある。

第一に「おいしいぶどうを育てること」だ。ワインは、原料であるぶどうの品質によってすべてが決まる産物だ。おいしいぶどうを樹が実らすためには、長い年月が必要である。当社は苗植えから始めて15年ほど経ってようやくワイン醸造のスタート地点に立ったと実感する。これから何世代にも渡ってこの麻生地区でぶどう栽培とワイン造りができる環境づくりとして、環境1に記載している新品種開発を行っている。ぶどう栽培には不適な大雨や猛暑など、近年鳥取が悩まされている気候変動対策のアプローチとして独自に取り組んでいる事業である。

第二に「はたらく人を育てること」だ。ぶどうだけでなく働く人を育てるため、経済10の項目に積極的に取り組んでいる。ぶどう品種それぞれに個性があるように、単に農作業や製造を行う労力ではなく、働く人たちすべてが自己実現を目指せるように心のケアと制度の確立によって支援をしていく。お互いを支え合って未来を育む少数精鋭でありたい。

第三に「限りある資源の効率的な使用」だ。農業や醸造にはどうしても燃料・電力使用が必要で、資源の利用や二酸化炭素の排出に繋がってしまう。限られた資源を有効に利用するため、自社で電力や燃料使用量あたりのワイン生産量という指標を設定して、電力を再生可能エネルギーの供給に変えたり、燃料使用量の削減目標を設定して低減するなどの対策を行って、その指標の向上を目指している。

# 社会(1/2) : 株式会社兔ッ兔

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
労働災害の防止	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自主的に安全管理者を設置</li> <li>◆労働災害の未然防止のため、スタッフ会議(1回/月)にてチェックシートを用いた研修実施</li> <li>◆スタッフ会議(1回/月)にてヒヤリハットの把握、その場で対策を講じるとともに、情報収集を重ねる。</li> <li>◆社外講師を招き労働安全の社内研修を実施(1回/年)</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆労働災害ゼロ(達成時期:R4年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ヒヤリハットの情報収集を重ね、安全管理マニュアルを作成し、活用開始に伴う社内研修を行い、従業員の活用を促す。</li> <li>◆ヒヤリハット報告をしやすい心理的安全な職場づくりを目指すため OneOnOne コーチングの定期的実施</li> </ul>
ハラスメントの防止	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ハラスメント防止に関する担当を設置(代表:前岡美華子)</li> <li>◆月1回、代表によるハラスメントに関する面談</li> <li>◆第三者機関であるハラスメント相談窓口の設置(ほだきのとつと 心理士:前岡良汰)</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆新就労規則整備し社内の取り組み体制を明示して取り組む(達成時期:R5年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆就労規則の全面改訂を行う</li> <li>◆従業員に対する聞き取り調査</li> <li>◆鳥取県施策を活用し、鳥取県男女共同参画認定企業登録に向け、就労規則の全面改訂を行う</li> </ul>
女性の活躍	<p>&lt;KPI&gt;</p> <p>全従業員に対する女性の割合 50%(現時点) 全管理職に対する女性管理職の割合 50%(現時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆鳥取県男女共同参画認定企業 鳥取県施策を活用</li> <li>◆女性が働きやすい環境づくり(例:トイレ 男女問わず事前申請のない体調不良による休暇を認める)</li> <li>◆性別、年齢、職歴、能力などに関係なく挑戦できる業務配分に徹している</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <p>全従業員に対する女性の割合 50%( R7年時点) 全管理職に対する女性管理職の割合 50%( R7年時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆当社とマッチングできる機会を積極的に設ける(随時、面談・職場見学・体験など)</li> </ul>
障がい者が働きやすい職場づくり	<p>&lt;KPI&gt;</p> <p>障がい者雇用者数0人(現時点) (※雇用率 0% 現時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆グループ企業「医療法人とつと」 「一般社団法人ほだきのとつと」と連携し就労支援、就労体験の場の提供</li> <li>例)①就労に向けた農作業体験の場の提供</li> <li>②職業体験としての農作業、販売作業の場の提供</li> <li>③就労に向けた調べ学習に対する協力</li> <li>④Yogoto マルシェを活用した就労体験の場の提供(出店者の補助業務等)</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <p>障がい者雇用者数0人(R7年時点) (※雇用率 0% R7年時点) ただし、バイト・インターン受け入れ年1回以上</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆グループ企業、及び教育機関、就労支援機関と連携し、6次産業を活かした様々な就労体験機会の創出</li> <li>◆将来の障がい者雇用に向けてアルバイト、インターンなどの労働形態で障がい者を受け入れる</li> </ul>
多様な人材の活躍	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢者の雇用促進 60歳以上の再雇用</li> <li>◆グループ企業を活用した配置転換 →当社内だけでなく、グループ企業内で従業員の長所を活かしたパートタイム雇用の実施</li> <li>◆高齢者の就農支援 耕作放棄地を活用した就農支援</li> <li>◆就労体験の場の提供</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆60歳以上再雇用の割合 20%以上(R7年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢者就職した従業員への聞き取り調査</li> <li>◆高齢者人材ならではの長所や強み、得意なことを他従業員に伝承・共有していく</li> </ul>

## 社会(2/2) : 株式会社兔ッ兔

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
多様な働き方の促進	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 残業や休暇などの労務管理の徹底</li> <li>◆ 性別、年齢、職歴、能力などに関係なく挑戦できる業務配分に徹している</li> <li>◆ 始業・終業に縛られない、成果に基づく勤務体制</li> <li>◆ 研修・講習会の斡旋、参加の推進</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 特別休暇制度の設定 (R5 年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 積極的な呼びかけと安心して休めるシフトを組む</li> <li>◆ 男女問わない育休取得率の向上</li> <li>◆ 鳥取県施策を活用し、鳥取県男女共同参画認定企業登録に向けた体制作りを進める</li> </ul>
労働者への人権配慮	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 月 1 回の役員面談</li> <li>◆ コーチングの手法を用いて 1on1 コーチングを実施している。スタッフが自分らしく働ける職場作りと、人として尊厳をもって生きていけるようサポートすることを目的としている。</li> <li>◆ 5 月に発足した「PSGs 実行委員会」に参加を表明し、会員相互に連携し会社としても学びと変革を続ける一助としている。</li> </ul> <p>(PSGs 実行委員会とは、地域の企業が連携して「心理的安全な職場づくり」を実践し、2030 年までに持続可能な地域経済、暮らしやすい地域社会の実践を目指して立ち上げられた団体で、事務局を株式会社 BEAS 代表取締役が務めている)</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 就職満足度 80% 以上 (達成時期: R7 年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 労働者への聞き取り調査・アンケートの実施</li> <li>◆ 労働者の就職満足度の測定</li> <li>◆ 鳥取県施策を活用し、鳥取県男女共同参画認定企業登録に向けた体制作りを進める</li> </ul>
地産地消	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地元量販店を中心とした直売</li> <li>◆ 地元飲食店との連携、直販</li> <li>◆ 地域イベント「Yogoto マルシェ」開催</li> <li>◆ 「食のみやこ鳥取県」サポーターへの登録</li> </ul> <p>→ 当社の圃場・醸造場を訪れ、当社の魅力やワインの説明ができるアンテナショップ的な役割を担っていただくため</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地元飲食店、販売店との取引数 (現時点: 5 社) を 3 倍にする (達成時期: R6 年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 月 1 回の地元飲食店と合同ワイン会</li> <li>◆ ワイン会によって、地元消費者へのワインの認知向上や飲食店の利用を促す</li> </ul>
地域社会への貢献	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 需要創出のための地域イベント、「Yogoto マルシェ」を開催</li> <li>◆ 地域学校への訪問授業</li> <li>◆ 地域教育機関の校外学習の受け入れ</li> <li>◆ 龍谷大学、智頭農林高校のインターンシップの受け入れ</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中学校の職業体験の受け入れ (達成時期: R7 年までに)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 就業プログラムの制作</li> </ul>

## 経済(1/2) : 株式会社兔ッ兔

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>セキュリティ対策</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆民間事業を活用した警備体制整備</li> <li>◆防犯、危機管理研修の実施(1回/年)</li> <li>◆個人情報保護、情報セキュリティについて取扱手順の策定</li> <li>◆ウィルス対策ソフトの導入、及び緊急時対応先の確保</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆セキュリティ管理マニュアルの策定(達成時期:R5年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆年1回、警察との防犯体制の見直し</li> <li>◆年1回、個人情報保護のための講習実施</li> <li>◆地域を巻き込んだ安全安心なまちづくり</li> <li>◆お客様の個人情報保護の徹底</li> </ul>
<b>法令順守の取組の徹底</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆果実酒製造業が順守すべき法令の把握、抵触した場合の影響の分析・把握</li> <li>◆農業に関する勉強会の実施(1回/月)</li> <li>◆月1回のコンプライアンス教育</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>劇毒物取扱責任者資格を持つスタッフを管理責任者とした農業・醸造薬品の管理体制構築(達成時期:R7年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆劇毒物取扱責任者資格取得を目指す</li> </ul>
<b>情報公開</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆SNSやホームページによる定期的な情報発信</li> <li>◆ワイナリーでどのようにぶどうが作られ、ワインが醸造されているかをお客様に紹介するツアーの企画</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆製造ワインのトレーサビリティを公開(R5年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆消費者の手元に届くまでの流れをいつでも情報公開できるように原料、利用資材、製造過程などの情報をまとめ、社員間で共有できるシステムを作る</li> </ul>
<b>後継者の確保</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆就職意欲のある人材に対して、職場体験や案内、面談を随時設定する</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>次世代を役員に昇格させる(達成時期:R10年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>当社の理念に共感しともに働ける人材を求めて、農業・醸造関係なく幅広く人材を募集していく</p>

## 経済(2/2) : 株式会社兎ッ兎

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
コロナなどの市場変化を見据えた対応	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自社サービス、事業領域の見直し</li> <li>◆ 宅飲み需要のためのオンラインストアの充実、告知</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ オンラインストアの売上額を前年比20%上げる(達成時期:R5年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 宅飲みギフトセットの提案</li> <li>◆ オンラインストアのレイアウト変更</li> </ul>
自社以外の経営資源活用	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取県産業技術センターとの共同研究の実施</li> <li>◆ 副業人材(外部専門家)の活用</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 前年比売上 20%上げる(達成時期:R5年)</li> <li>◆ 先進的な設備・機材を用いた、効率的なブドウ圃場管理システムの構築(達成時期:R10年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 月 2~3 回、大学関係者と共同でデータ収集・分析</li> <li>◆ 継続的な副業人材との連携</li> </ul>
デジタル化による生産性向上	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ワイン製造工程における数値化</li> <li>◆ 自動温度管理システムの導入</li> <li>◆ 販売業務における、売上金額などの見える化</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ワイン製造・販売業務において、多くの数値を取り、マニュアル化する(達成時期:R7年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 精密な機械や日々の記録を根拠にしたデータ集め</li> <li>◆ 副業人材との連携による、より良い販売業務管理</li> </ul>
雇用の維持・拡大	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 個人の能力に応じた専門性を身に付けさせる</li> <li>◆ 現地での職場体験、インターンシップ、面談など</li> <li>◆ 従業員のキャリアデザインを明確に把握するためにOneOnOneコーチングの実施</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ぶどう販売・ワイン販売のみに依存しない収入源の確保(達成時期:R5年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ワイナリー見学や周辺施設、県内の他事業者との連携によるツアーのパッケージ化、およびツアー開催による観光部門の収入確保(例.近隣酒造、飲食店との連携による酒・ワインツーリズムの企画)</li> </ul>
人材育成・能力開発	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 外部研修への参加推奨、積極的活用</li> <li>◆ 教育機関への出張講義</li> <li>◆ 『農の雇用』を活用した人材育成</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ワイナリー経営の中核を担うための、キャリアデザインの設定と実行(R10年に事業継承を目指して)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 外部ワイナリーや教育機関への研修</li> <li>◆ 資格所得の補助</li> <li>◆ 社内での技術研修および OJT の実施</li> </ul>

## 環境：株式会社兔ツ兔

	取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>気候変動リスク／環境負荷リスク・機会の分析・対策</b>			
	<b>自然環境の変化が経営にもたらす影響</b>	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆原料ぶどうの収量減少、及び品質低下</li> </ul> <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆環境適応性を持った高品質原料となるオリジナルぶどう品種の開発</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>オリジナル品種第1号ワイン販売(達成時期:R5年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆栽培研究続行</li> </ul>
	<b>社会・制度の変化が経営にもたらす影響</b>	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆資材の価格上昇</li> <li>◆醸造設備の更新</li> <li>◆ノンアルコール志向の高まり</li> <li>◆エネルギー調達コストの増加</li> </ul> <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆資材・設備の代替品導入</li> <li>◆パワーシフト(電力会社の変更)</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ワインLあたりの石化燃料の使用削減(R4年 1% R5年 2.5% R6年 3.5% R7年 5%削減)</li> <li>◆ワインLあたりのCO2排出量の削減(R4年 1% R5年 2.5% R6年 3.5% R7年 5%削減)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆電気エネルギー由来の農業機械導入</li> <li>◆農作業及び調達資材のCO2排出量の算出</li> </ul>
	<b>自社の事業活動が引き起こす影響</b>	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ワイン醸造における副産物の発生</li> </ul> <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆副産物を肥料として再利用</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆醸造過程におけるゼロウェイストを達成(達成時期:R6年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ワイン醸造時に発生する澱の再利用法を検討</li> </ul>

	取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>カーボンニュートラル</b>			
	<b>&lt;省エネ&gt; 燃料消費量の削減</b>	<p>&lt;KPI&gt;</p> <p>CO2 排出量 3.17 t-CO2/年 (R3 時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆燃料使用量の見直し・改善</li> <li>◆除草や薬剤散布の効率化</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <p>CO2 排出量 2.85 t-CO2/年 (R7 時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆燃料エネルギーを使用する機械から、電力エネルギーを使用する機械への変更</li> </ul>

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>環境配慮型商品・サービスの提供</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ナイロン製レジ袋を廃止し、全量紙袋に変更(2017年冬)</li> <li>◆創設以来、ぶどう・ワイン緩衝材に県内産間伐材を使用</li> <li>◆瓶のリサイクル・再利用について、該当業者からの情報収集を始めている。</li> <li>◆ワイン量り売りの検討</li> </ul> <p>本年に事業完了をする「鳥取県もうかる6次化農商工連携事業」を活用した貯蔵庫の整備には、その先に「ワインの量り売り」を一案として見据えている。この実現にはワイン品質の保証という課題が大きく、引き続き検討を重ねている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆環境配慮型商品の開発(達成時期:R7年)</li> <li>◆ゼロウェイストの達成(達成時期:令和7年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆軽量びんもしくは無色びんを利用した商品の検討</li> <li>◆ハウス被覆資材の再利用検討</li> </ul>
<b>環境面での社会貢献</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆耕作放棄地の農地活用</li> <li>◆除草剤を使わない栽培体系</li> <li>◆化学肥料に依存しない施肥体系</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆当社地域の耕作放棄地活用し農地をR4年比150%まで拡大(達成時期:R9年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆耕作放棄地の農地化を進める</li> </ul>